

### 3 学部合同学生セミナー

責任者・コーディネーター	全学教育運営委員会 佐藤洋一委員長		
担当講座・学科(分野)	全学教育運営委員会 (3 学部合同学生セミナー実行委員会)		
担当教員	<p>【医学部】小林 誠一郎 医学部長、佐藤 洋一 全学教育運営委員会委員長、小笠原 邦昭 教授、石垣 泰 教授、森野 禎浩 教授、佐々木 章 准教授、高橋 義彦 講師、長澤 幹 助教、中島 祥文 助教、高田 彰 助教</p> <p>【歯学部】三浦 廣行 歯学部長、石崎 明 教授、八重柏 隆 教授、杉山 芳樹 教授、中居 賢司 教授</p> <p>【薬学部】前田 正知 薬学部長、駒野 宏人 教授、小澤 正吾 教授、那谷 耕司 教授、工藤 賢三 教授、西谷 直之 講師</p> <p>【共通教育センター】平林 香織 教授、遠藤 寿一 准教授、工藤 裕子 准教授</p>		
対象学年	6 (全学部)	期 間	前期
区 分	演習	単位数	0.5 単位

・学習方針（講義概要等）

専門職連携教育(Interprofessional Education)の一環として、5 学年まで修得した医学・歯学・薬学の専門知識と経験をもとに、3 学部の学生が症例を PBL 形式で検討する。各症例の診断、病態生理および治療を各学部生で事前に検討しておく。セミナー当日に学部間で意見交換をおこない、それぞれの専門職がどのような観点から病に対しての病者に対する多角的な見方を育てる。

・一般目標（GIO）

専門知識を修得した学生が、症例の診断、病態生理、および治療を、それぞれの専門性をもとに討議することで、他職種の見点を知り、専門職が連携したチーム医療の必要性を理解する。

・到達目標（SBO）

1. 医学、歯学、薬学それぞれの立場から、症例患者がどのような病気で苦しんでいるか診断できる。あるいは最終診断に向けてどのような検査が必用か、述べるができる。
2. 医学、歯学、薬学それぞれの立場から、診断過程、病態生理と治療方針を他職種にわかりやすく説明できる。
3. 医療職として、患者の今後のケアに何が必用か、列挙できる。
4. 実際の医療現場に於いて、どのような他職種間のコミュニケーションギャップがありうるか、列挙できる。
5. 他職種間の評価方法を述べるができる。

・成績評価方法

演習態度・レポート等を総合的に判断する。

・特記事項・その他

開催日：平成 26 年 4 月 12 日（土）～13 日（日）  
 会 場：安比グランドホテル  
 対 象：医学部・歯学部・薬学部 各 20 名